

9小国郷医療福祉あんしんネットワーク 会議録

会議名	小国郷医療福祉あんしんネットワーク全体会（5月）		
開催日時	令和元年5月22日	19:00~20:30	開催場所 小国町町民ホール 206号室
記録者	南小国町役場 下城 孝浩		
議 題	1. 総会		
	2. シネホールとのコラボ「出張ひとよこいカフェ」報告		
	3. ネットワークチーム再編成について		
	4. 阿蘇郡医師会より連絡事項		
	5. 新規参加者、新人職員自己紹介		
	6 その他		
出席者	各医療・福祉関係者		約70名

No	議 題	内 容
1.	<p>総会</p> <p>①・平成30年度事業報告</p> <p>・平成30年度会計報告</p>	<p>・世話人会 毎月、定例で12回実施。様々な事業、地域の活動、イベントの検討、規約の改正等を行った。</p> <p>・全体会 1回 活動・経過の報告、チーム間の共有等、2回 認知症カフェひとよこいの在り方についての意見交換等、3回 連携をテーマに事業所からの発表等、4回 小国郷の新規包括ケアシステムの再定義のテーマで小国郷の現状等を各職種ごとに協議等、5回 事例検討チームで認知症の方の事例についてのグループ討議等、6回 小国郷のケア情報シートについて等、7回 各チームから事業計画や予算の検討等、8回 各チーム事業計画具体案の検討等、9回 事例紹介で事例に対する共有と紹介、異なったテーマによる職種ごとのグループワークの実施等、</p> <p>・認知症カフェひとよこい 7/24 「笑いと涙のひとよこい3周年記念イベント」で講話と落語を実施。12/20 クリスマス会を実施。 その他 熊本県若年性認知症受入促進研修委託事業で、若年性認知症に関する講演会を開催。</p> <p>・小国郷医療福祉あんしんネットワーク平成30年度収支報告 収入 両町よりの補助金 761,000 円、利息 2 円、前年度繰越金 215,879 円、収入合計 976,881 円 支出 消耗品（事務用品等）1,488 円、通信費（ホームページサーバー等）8,566 円、印刷費（講演会資料、エンディングノートの印刷等）33,730 円、講師料（講演会講師謝礼等）46,966 円、その他（講演会お茶代等）15,897 円、未払金（ハンドブック印刷代等）468,614 円、支出合計 575,261 円 2019 年度への繰越金額 401,620 円</p>

No	議 題	内 容
	<p>②・令和元年度事業計画（案）説明 （各チームリーダーより）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 認知症カフェひとよこい会計報告 収入 前年度繰越金 43,419 円、参加費 43,900 円、 収入合計 87,319 円 支出 消耗品費（衛生費、イベント時の花代等）23,235 円、お菓子代 21,740 円、カラオケマイク 12,744 円、お礼の品代 1,944 円、ファンヒーターレンタル代 6,000 円、支出合計 65,663 円 次年度繰越金 21,656 円 • 監査報告 5月15日に小国町社会福祉協議会事務所内で、阿蘇郡医師会古木氏、小国町役場生田課長、南小国町役場下城で監査を行い通帳及び関係帳票を見させていただき、適正に処理されていることを確認しました。 • 事例検討チーム 6月に事例検討の在り方についてチーム内会議を行う。9月、3月に全体会での事例検討を行い医療と福祉それぞれの専門職の視点を引き出せるような会にし、それぞれの事業所で今後のサービスにつながる知見を持ち帰られるような検討会にしたい。 • 認知症カフェチーム カフェ開催時に毎回 40 分程度の講話を予定。7～9月のいずれかの月に認知症サポーター養成講座を開催予定。4月に予定していたイベントは来年に持ち越しとなりました。 • 出前講座チーム 月2回から4回の予定で、いろんなサロンに出向いて専門職の方に20分程度の講話をして貰っています。今年度、4月が3回実施し、5月に5回開催予定です。皆様のご協力を宜しくお願い致します。講師料として事業所の方には 1,000 円を支払っています。 • 患者情報共有チーム 今年度は小国郷ケア情報シートを IT、メディカルケアステーションで共有できるようにしたいと思っています。熊本県と医師会の熊本メディカルネットワークの両者を活用して情報共有が出来ないかと思っています。年度事業計画は、4月に紙のケアシートの見直しをしており、5月に新ケアシートの運用に向かって頑張っているところです。6月に IT 化に向けて準備開始し、7月に開始できればと思っています。 片岡先生より 熊本メディカルネットワークとメディカルケアステーションのハイブリットシステムを運用する計画です。現在、紙ベースの小国郷ケア情報シートを全員で共有することと、熊本メディカルネットワークの小国郷からの登録者を増やしていきたいということが目的です。システムに必要なものは、携帯ではいろいろと問題があるため専用の端末を用意していただきたいと思います。QR ラベル印刷機と QR コードリーダーがあればと思いますが、事業所には QR コードリーダー（7,000 円程度）があれば楽にいろんなことが出来るようになります。小国郷ケア情報シートの参加の同意書に名前を2か所書いていただければ、両方に登録できるようなシステムつくろうと思いますので、患者さんの手間、皆さんの手間もそんなに増えないようなシステムを考えているところです。まずは公立病院と薬局の間で、患者さんの情報のやり取りが出来ると、近いところ始めると何が必要なことで、何が足りないのか分かるので、まずはそのあたりから始めて、あとは在宅医療等でケアマネさんや訪問看護の方々と病院が何を情報共有したらいいのか、現場で使いながら使い方を考えていくというやり方で進めていきたいと思っています。小国郷のケア情報システムを作り上げて、11月に在宅医療のフォーラムを開催予定ですので、フォーラムで発表したいということが目標となっています。

No	議 題	内 容
	<p>•令和元年度予算(案)の説明</p>	<p>•広報チーム 毎月の世話人会、全体会、またイベントがあった時の記録をフェイスブック、ホームページにアップすることを目標に掲げています。昨年、出来なかったホットオレンジの原稿は出来上がっているので、原稿をバラバラにホームページにアップしようと思っています。その中からホットオレンジに必要な内容をピックアップし紙媒体にしていきたいと思っています。</p> <p>•美鳥チーム 小国郷で生きていくノート、エンディングノートを3,000部増刷していますので、各事業所に配布できると思います。フォーラムが11月にありますのでそれに向けて、看取りに関する内容を含めた在宅医療のパンフレットを作るのが大きな事業になると思います。</p> <p>•在宅医療サポートセンター 阿蘇圏域で阿蘇医療センターと小国郷医療福祉あんしんネットワークで在宅医療サポートセンターの指定を受けることになりました。病院だけでは出来ないことを、皆さんの力を借りながら小国郷の在宅をつかっていこうと受けさせていただきました。220万円の補助金が入ることになっていますので、使い道を今から考えていくこととなります。計画として、クリニックの先生方、梅田先生、辻先生、大村先生と公立病院、あとおぐに訪問看護ステーションとみどりの里訪問看護ステーションで毎月、話し合いをしております。5月の会議で在宅療養支援診療所とか在宅医療支援病院という在宅を請け負う診療所と病院の申請を出そうということで、システムをつくっているところです。7月に入ったらグループでの24時間往診体制をシステム化して、最終的にはフォーラムの時に発表できるような小国郷の在宅医療の形を創り上げていきたいというのが、本年度の計画になります。</p> <p>•総務チーム 経理とか補助金とか屋台骨のところをやります。皆さんの活動の支えの部分の補って、チームの活動の中で必要に応じて全体会として共有する会議等を進めていきたいと考えております。</p> <p>収入 助成金 761,000 円、繰越金 401,620 円 合計 1,162,620 円 支出 消耗品(事務用品等)42,000 円、通信費(サーバー、切手等)20,000 円、使用料(会場費)100,000 円、食糧費(講師昼食等)46,000 円、印刷費(ホットオレンジ、フォーラム、資料等)439,000 円、旅費(講師旅費)60,000 円、謝礼(講師等)136,000 円、運営費(ひとよこい経費)80,000 円、予備費 239,620 円 合計 1,162,620 円</p>
2.	<p>シネホールとのコラボ 「出張ひとよこいカフェ」報告</p>	<p>•日時 H31年4月25日(木) 13:00~「ぼけますから、よろしく お願いします。」映画上映 15:00~15:30 ワークショップ</p> <p>•場所 小国シネホール 参加者55名 参加料500円</p> <p>•映画内容 テレビディレクターの家族のことを題材としたドキュメンタリー映画で、認知症介護の現実や思い、葛藤が伝わり夫婦愛や家族愛も感じられる映画となっている。</p> <p>•ワークショップでは認知症の母を看ていたが、第三者の目線では見れなかった。夫の愛を感じた。夫婦の関係性が大切と思ったなど、様々な思いを語っていただきました。</p> <p>•4月26日(金)映画上映後にスタッフ向けに座談会を実施(参加者9名)し、印象に残ったことを話してもらいました。</p> <p>•今回のコラボ企画と座談会を開催して、想像を超える集客率で介護や認知症に対する関心の高さを感じた。この思いを「ひとよこい」にどのように</p>

No	議 題	内 容
		結び付けていくのが課題だと思います。
3.	ネットワークチーム再編成について	医療・介護チームに関する自分の役割をつくっていただきたいので、少なくともどこかのチームに1つは入っていただきたい。こういう連携に興味があるスタッフが施設にいらっしゃったら、みんなで協力しながらいいものをつくっていきたいなと思っています。新たに新メンバーを集めますけども、資料の裏側の QR コードを読み込んでもらいますとデンスケに飛ぶようになっており、そこで登録できるようになっています。あんしんネットワークのメーリングリストでも流しますので、そのアドレスから登録していただいても結構です。一週間ぐらいの間に登録していただければと思います。
4	阿蘇郡市医師会より	<ul style="list-style-type: none"> • 6月10日(月) 19:00~阿蘇郡市医師会館で在宅医療システム研究会の第1回の理事会を実施。 • 6月21日(金) 19:00~阿蘇市農村環境改善センターで第23回阿蘇郡市地域多職種連携研修会を実施。内容は阿蘇市の糖尿病の現状と保健活動についてと、小国公立病院の片岡先生から小国郷の多職種連携についての講演を予定しております。 • 6月22日(土) 14:30~グランヴィリオホテルで阿蘇在宅医療システム研究会の総会・講演会・懇親会を実施。講演は、くわみず病院の総師長、副師長様から病院と診療所との連携、看取り等についてのお話をさせていただく予定です。懇親会は1人1,000円で参加できるようになっております。 • 在宅医療システム研究会の入会申し込みについて、今まで会員の総数がはっきりしていなかった状態のため、総会などで大きな事案を決定することが出来ないということで、今回、入会申込書を出していただくことになりました。会員の方に費用の負担もございませんので、活動に参加される方は申し込み頂ければと思います。
5	新規参加者・新人職員自己紹介	養護老人ホーム悠和の里1名、小国公立病院7名、小国町社協1名、小国町地域包括支援センター2名、小国町役場福祉課1名、南小国町役場福祉課2名、訪問介護事業所 系4名、合計18名の方より自己紹介あり。
6	その他	片岡先生より ステッカー作成についてなんですが、まずは、地域包括ケアシステムを、日本は今後、町のデザインにしていくべきということで、山崎 亮さんが書かれたとても斬新なアイデアが沢山載っている本を紹介します。その中に地域包括ケアとは、町づくりにケアとデザインを取り組むことと書いてあります。お年寄りのために施設をつくるという概念ではなく、クオリティが高いものをつくっていきこうという流れをつくっていかなければいけないということです。そういう中、金沢市にシェア金沢というアクティブシニア館と言われる町がつくられております。約200メートル四方の中に温泉があり、カフェバーがあったり別荘地みたいな感じのところ、ご高齢の方はもちろん、児童施設とか福祉施設だったりとか、学生さんの寮だったり、全部ひっくるめた町づくりをしたコンパクトなメディカルタウンみたいなものができています。小国町はどうかというと、200メートル四方の中に色々なものが入っていて、見方を変えるとシェア金沢に見えるんじゃないかと、そのほかみどりの里、歩さ

No	議 題	内 容
		<p>んがあるところとか、南小国の森園さんがあるところの温泉館、この3つはすでにメディカルモールとなっているので、あんしんネットワークでつないでしまって、不足しているリソースを共有するとメディカルモールみたいになるのではないかということです。それをメディカルモールと呼ぶためにはストーリーとデザインが必要で、このデザインを統一するためにステッカーをつくろうという話になったわけです。</p> <p>ステッカーが出来ましたので、各事業所の看板のところにこれを張っていただいて、あんしんネットワークに入っていますと意思表示をしていただいて、小国郷の中の一体感を出したいと思っていますところです。張った写真を集めてホームページに載せていくということを、今年はやっていきたいと思しますのでご協力を頂ければと思っていますところですのでよろしくお願い致します。</p> <p>小国町社会福祉協議会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム「なごみ」、「森園」なんですが、これまで天風さんが運営されていましたが、4月1日より小国町社会福祉協議会が運営を引き継ぐことになりました。名前とか事業も一緒に入居者の方も変わりませんが、運営母体だけが変わりましたので皆さんにお知らせします。 ・みどりの里の下城部長が今回、県知事表彰を受けられました。授賞理由が多年にわたり優れた見識と熱意をもって保健衛生と看護の功労発展に寄与されたということで表彰を受けられたということです。